

事業名 CD	0	小中学校教育振興事業
細分化した事業名		小中学校教育振興事業
事業担当課室 CD	500100	教育課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり	
	中項目	子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実	
	小項目	学校教育の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	理科教育設備費等補助金交付要綱
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	理科(数学)に関する教育のための設備を整備して、実験や教材を用いて、分かりやすく授業を実施することにより、科学や探究する心を育む。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	児童・生徒
これまでの改善経過	学習指導要領に沿って、理科(数学)の教育設備を整備している。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他() 小中学校の授業に必要な理科(数学)設備(顕微鏡・実験機器等)を整備する。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	理科(数学)設備が充実し、より児童・生徒に興味をもってもらうことによって、理科への興味が学力の向上が図られる。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度	
A	事業費 (千円)	10,554	9,172	11,996	
財源内訳	国庫支出金			3,408	
	県支出金				
	市債				
	その他				
	一般財源	10,554	9,172	8,588	
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)			0.00 0.01	
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	0	0	68	
D	総事業費(A+C) (千円)	10,554	9,172	12,064	
*参考		H21)市民1人当りの事業コスト	376 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	理科（数学）設備の整備学校数	(校)	7	7	7
成果指標	理科（数学）設備が整備されている学校数	(%) 小中学校数7校／整備小中学校数7校	100.00	100.00	100.00
効率指標	児童・生徒1人当りのコスト	事業費／児童・生徒数（12,064千円／2,913人）	3,345.00	2,904.00	4,141.00

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 1人でも多くの児童・生徒に理科（数学）に興味をもってもらうために、教材を整備することは妥当である。
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 充実した教育環境を整備することで、児童・生徒がより興味をもって学習することにより、理科（数学）教育の振興が図られている。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 理科教育にかかる設備は特に高額なものが多いが、各小中学校分を入札で購入しているため、単体での購入に比べ割安である。

総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
------	--

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 効率化（結果単位あたりのコストを下げる） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、または廃止する） <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
---------	---

改善・改革案	改善・改革の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）		
	(1) 中長期的 現行のとおりのとおり	(2) 23年度 現行のとおりのとおり	(3) 22年度 現行のとおりのとおり
	21年度の改善計画 現行のとおりのとおり		
21年度の改善結果 現行のとおりのとおり			

市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)	なし
---	----

課長所見	将来を担う児童生徒が1人でも多く理科（科学）に興味を持ってもらい、技術立国日本の後継者となってくれることを希望する。
------	--